



北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

NPO 法人ピアソン会事務局
(事務局長 伊藤 悟)
〒090-0036 北見市幸町7丁目4番28号
ピアソン記念館内
Tel. FAX 0157-31-1215
午前 9:30 ~ 午後 4:30
e-mail / pierson@yacht.ocn.ne.jp



会報のバックナンバー等は、左のQRコードホームページで読むことができます。

第129号

(隔月刊)

発行：2026. 7 .31

(令和8年7月31日)

発行人：中山 一夫(理事長) 編集人：伊藤 悟(副理事長)

【写真下】スコットホール正面



このヴォーリス建築文化
全国ネットワークの記念す
べき第20回大会が、5月30
日に全国から50余名の参加
のもとに東京・早稲田奉仕
園「スコットホール」で開
催され、日頃、ピアソン会
ハープ部会活動に取り組ん
できた縁により、初めて参

ピアソン記念館の設計者ウィリアム・メレル・ヴォーリス氏は、メンソレータムの近江兄弟社の創立者としても有名ですが、その建築作品は現在も全国各地に所在する146件(約175棟)がマップとして登録されています。ピアソン会も幹事としてヴォーリス建築文化全国ネットワーク(VNW)に参画し、日本最北のヴォーリス建築として高い評価を受けています。

あつたる家のヴォーリス建築文化に参画！

NPO 法人ピアソン会

ハープ部会長 長南 幸子

加の機会を得ました。

20周年記念事業は続く

全国大会の進行役は、近江兄弟社ヴォーリス記念館の藪秀美館長。冒頭のご挨拶では、歌手の米津玄師氏の代表曲である「Lemon」のミュージックビデオで、神聖で静寂な雰囲気のあるスコットホールの講堂がロケ地として使われたことなど紹介され、和やかに大会は始まりました。

総会の議事では、26年度活動方針として、◎本ネットワーク創立20周年記念誌の発行…◎ヴォーリス建築マップを含めた冊子として企画し、27年度全国大会で



【写真左】記念講演に聞き入る参加者。(建物内部写真は制限がありご紹介できません。ご容赦！)

の発行を予定。

◎20周年記念大会その2として、27年6月5日(土)に京都市内にて開催し、講演会、シンポジウム、記念パーティーを記念事業として計画することが承認されました。

早稲田の地で育む文化

続いて全国大会の記念講演では、早稲田奉仕園専務理事・阿部千秋氏から「I、愛、会い」〜ヴォーリスとベニンホフ〜と題して、100年前にキリスト教伝道のため来日したウィリアム・メレル・ヴォーリス氏とハリー・バクスター・ベ

ニンホフ氏。ふたりの出会いと積み重ねた建築・設計事業の成果として、神のみもとに人々が集うチャペルから始まった建築物が、まさに早稲田奉仕園でありました。ベニンホフ氏がキリスト教寄宿舎「友愛学舎」を創設し、さらに大きな学生センターを作ることを計画。母国アメリカの北部バプテスト大会総会で強く賛同したスコット夫人が、亡き夫の遺産から多額の寄付を申し出たのがスコットホールの由来となりました。

また早稲田大学卒業生7人がヴォーリス建築事務所スタッフとして働いていたこと。関西学院大学や大阪教会。お茶の水・山の上ホテル等、全国に数多く残る作品群が物語っていることなど。VTR「早稲田奉仕園百周年」で紹介しながら、ヴォーリス氏とベニンホフ氏のおふれる愛によって誕生した建築物は、時を超え地域を超えて結びつき、遺されていることが伝わってくるのでした。

近代建築史を受け継ぐ

いよいよスコットホールの見学会。一粒社ヴォーリ

ズ建築事務所・山形政昭氏のご案内で進みます。1階の正面講堂を中心に赤煉瓦の壁面や天井の高さと内装の木質が醸し出す落ち着いた雰囲気にはパイプオルガンの設えもあって音響効果が特徴とされています。2階は吹抜けと貸室、地階はギャラリーと事務所の構造で築後105年の年輪が刻まれています。1923年関東大震災や1945年東京大空襲での間近に迫った炎にも耐え、ほぼ建設当時の姿を今に残しています。

早稲田の地とヴォーリス建築事務所が織りなした近代建築史の重要な一面をあらためて見つめ直し、その空間的・文化的価値を未来に受け継ぐための議論を深めていくことを20周年記念大会を通じて参加者一同思いをひとつにしてまいり



【写真右】長南部会長のピアソン会を代表しての挨拶。

ました。

初参加でも居心地良し！

さらに、20回大会を記念

しての懇親会・情報交換会が、早稲田大学大隈講堂近くのカフェで開かれ、親しく懇談する機会となりました。それぞれご挨拶のマイクが回り、私からは「マップ番号1番・日本最北のヴォーリス建築・ピアソン記念館を運営管理するNPO法人ピアソン会から参加しました。日頃の活動は、記念館の園庭に和ハツカやラベンダーを植栽したり、館内にはハーブで作ったリース作品を展示しています。特にクリスマス

の時期には、認定こども園の子どもたちとツリーの飾りつけをして讃美歌を歌いながらお迎えしています。歴史的建築物を通じて、全国の皆さんとつながり合えるこのネットワークの活動に感動しています。」また「スコットホールと同様にピアソン記念館では MISIA（ミーシャ）さんがPV撮影をしています。ヴォーリス建築が醸す神聖で静寂な雰囲気

しょう。」と挨拶。初参加

でも居心地の良い心温まる

歓迎をいただきました。懇

親の場を通じて、各団体はもとより近江八幡市や野洲市など自治体関係者の皆さん。さらに、ピアソン会の東京在住会員として長年にわたり活動のご支援をいただいている「吉田百合子さん」にお会いできて話もはずみ、御礼や交流を深めることができました。

今回、全国大会の記念講演「I、愛、会い」の意味するところ、改めて「あふれる愛のヴォーリス建築文化」に学びました。心から感謝です。



【写真右】東京在住ピアソン会員の吉田百合子さんの挨拶。

追記「リードオルガンのつながらるヴォーリス建築文化」

長南 幸子

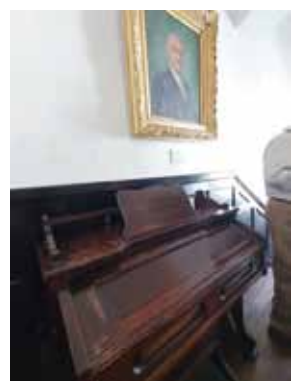
4月末に空知・浦臼町からご一家3名様が来北されました。

北見訪問の目的のひとつは「ピアソン記念館のオルガン演奏」。この古いリードオルガンは150年前のアメリカ・ボストン産で、メイソン&ハムリン社製とのこと。温かくも厳かな音色を奏でる夫人とご家族の音楽と信仰への思いが伝わります。

さて、日本でオルガンといえば「YAMAHA」ですが、創業者・山葉寅楠さんは、もともと時計や医療機器の修理技術者だった。明治時代に小学校の壊れたオルガンの修理を頼まれて、箱根を超えて持つていったけれど、音程がダメ出しをされて、じゃあ勉強しましょうと。一から学んだのが、かのYAMAHAの始まりとのこと。その後、YAMAHAのリードオルガンは大いに売れて、それからピアノも作り、今の会社「YAMAHA」になったといわれています。

ピアソン記念館のオルガンの音色を聴いて以来、文化施設を訪ねるたびに「リードオルガン」のことが気掛かりになりました。5月末にスコットホールをお訪ねした時にも

【写真左】スコットホールに保存されている西川オルガン製作所のオルガン。



見つけました。階段ホールの片隅に置かれた「スコットホールのリードオルガン」。鍵盤のネームをみると「Nishikawa Organ Yokohama」の文字がありました。この「西川オルガン」。実は日本で初めて、国産リードオルガンを製造した西川虎吉さん（1849年〜1920年）が、横浜で創業した「西川楽器・西川オルガン製作所」による歴史的なオルガンで、明治から大正にかけて国内トップシェアであったとのこと。リードオルガンで繋がるヴォーリス建築のピアソン記念館とスコットホール。その歴史のもう一頁に触れる思い出となりました。



上: Mason and Hamlin
下: YAMAHA製



（编者追記／ピアソン記念館には戦前のヤマハ製の由緒あるリードオルガンも所蔵しています。）

第28回グリーンコンサート

深緑の前庭で5団体、迫力の演奏！

7月4日土曜日午後1時、ピアノン記念館前庭で恒例のグリーンコンサートを開催。深緑の中での吹奏楽演奏は、今年も小学生・中学生・高校生・大学生・社会人と、5団体の共演でした。

本年も晴天に恵まれ、雨の心配をすることなく、演奏会を実施できました。また、木漏れ日のピアノン記念館前庭は、さほど暑さも苦にならず、午後3時には演奏会無事終了。思い出に残る演奏会となりました。

今回は、国の制度による「部活動の地域展開」により、小中生の学校単位の部活動としては、今回が最後の参加になるかもしれない、との事です。

このグリーンコンサートは、第1度が大きく変わるので、コンサート回目を1999年6月に、二階展示「唐笠何蝶記念室」の開設記念コンサートとしてスタートしました。日曜日の午後2時からの開演で、記念館所蔵リードオルガン伴奏、三団体の合唱とアンサンブルでのコンサートでした。

翌年の2000年の第2回コンサートからは、ピアノン記念館を校区としている小中学校生の参加を積極的に進め、社会教育施設としてのピアノン記念館を市民に広く馴染んでもらうように、コンサートを継続してきました。最近では、お父さんお母さんが子供の頃ここで演奏しました、という児童・生徒もいるようになってきていますが、来年度から制

トップは市立中央小学校
校ブラスバンド部

市立中央小学校は、第2回目グリーンコンサート（2000年）から連続して（コロナ禍の3年間は中止）24回出演の最多参加団体です。

可愛い演奏用ユニフォームで、3曲の演奏をしてくれました。

アメリカ民謡の「聖者の行進」・「明日へ吹く風」・最後に社会現象までなった「好きすぎて滅」と、佐野先生指揮で難しい曲を一生懸命での演奏でした。

【写真右】部活動の報告を紹介する児童。
【写真上】「聖者の行進」を軽快に演奏する9名の児童。



藤高等学校

吹奏楽部の演奏！

今年で2回目の出演となる北見藤高等学校吹奏楽部が2番手として演奏を披露。ただ今回は1年生の8名だけの参加でした。理由は、上級生たちはイギリスのリバプールで行われている音楽フェスティバルに現在参加していることによります。

藤高にふさわしく全員ふじ色のユニホーム、その清々しい色はピアノン



留守を守り、少人数編成ながらも熱演の藤高

ン邸藤棚の満開時を表現しているかのように鮮やかでした。
演奏は、①「銀河鉄道999」、②「ダンスホール」、③「タイムパドックス」、④「GUTS」、⑤「世界に一つだけの花」、⑥「宝島」の演奏。上級生たちのイギリス訪問演奏などの状況報告もありました。

市立北中学校

吹奏楽部の演奏！

北中学校も第2回のグリーンコンサート（2000年）から24回目の出演です。今年は27名での参加です。

指揮は段城先生で3曲を演奏しました。①「好きすぎて滅」、②「旅立ちを彩るアイノカタチ」。これらの曲の間には部員の活動報告もあり、北中としての活動が今年で終了するかもしれないという予感が会場に漂い始めましたが、プログラム最後の曲の、③「レッツスイング」の演奏が始まりました。軽快なリズムで始まり、各パートでの独奏など5分余りの演奏が終わりました。会

【写真左】最多出演24回目の北中吹奏楽部。





【写真上】北中として最後の出演？

場からは大きな拍手が生徒たちに中々止みません。すると指揮の段城先生が、タクトを構えアンコール曲を部員に伝えて4曲目の演奏を開始したのです。ラストの曲は嵐の「フアイブ」でした。会場から応援の拍手が起り生徒たちを讃えておりました。来年はどんな形態の参加か、不参加か、心配です。



写真：部活動などの報告を

北見工業大学 & 日赤北海道看護大学 合同吹奏楽部の演奏！

今年で10回目の出演となった、国立北見工業大学と日本赤十字北海道看護大学の合同吹奏楽部が4番目に演奏を披露しました。

1曲目はフージョンバンドで有名



写真：19名での演奏

な「オーメンズ・オブ・ラブ」、2曲目は、「情熱大陸コネクション」でした。

2つの大学の合同による編成ですので、来年から北見でも小・中学生に導入される「部活動の地域展開」という国の制度を先取りしているような形態です。勉学の大変な理系大学では練習時間や集まる人数も限られ、部員確保が毎年大変苦労すると聞いています。



写真：今年は女性部員が少ないようです

北見吹奏楽団の演奏！

最後の出演団体は、北見吹奏楽団（KWE）の皆さん。今年は31名の編成で参加。先月の6月20日に39



回目の定期演奏会を終えての出演となりました。定期演奏会での編成はこの倍以上とのこと。この楽団は2006年からの参加ですので約20年間グリーンコンサートを支えてくれています。コロナ禍を除き今年で17回目の出演です。

1曲目は懐かしい「サンバ・テンペラード」、2曲目に「カラー・オブ・ザ・ウインド」、3曲目は「ダンシング・クイーン」、そして今回のコンサートラスト曲として「マツケンサンバII」。編者の私としてはようやく馴染みの曲、思わず踊り出しそうに（?!）。会場からも拍手喝采。



【写真右】毎年、参加各団体も大人の演奏をお手本に。

【写真上】北見を代表する吹奏楽団の音色にうっとり！。

【写真左】当日15名のスタッフ。夏井理事が写真の撮影役で、写っていませんでした。来年は三脚を準備します。



コンサートを終えて！

ピアノン会設立時から続いているこのグリーンコンサート。28年前当初から現在まで続けている者は一人。以降からの参加者もすでに20年近くになりました。当初は全て役員等でコンサートの裏方を努めていましたが、数年前より専門の司会者がボランティア参加、ハーブ部会の協力、北見工大の学生さんの協力など、若い力も加わり今日に至っています。

昨年、コンサートの記録写真を整理していて、裏方の記録写真が1枚もないことに気がつきました。大いに反省し、本年はTシャツユニフォームを製作着用し、記念写真を撮りました。仕事を終えてのスタッフ一同、満面の笑顔をご覧ください。

「ニュージールランドからの便り」第56回



ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏

2026.4.10(金) りんごの収穫

北見の皆様方はお変わりないことと思います。先週、弟のマーレイと一緒に、ファンガヌイの果樹園にあるりんごの収穫に行きました。これまでにない素晴らしい収穫で、火曜日に家へ帰る車の大きな荷となりました。ファンガヌイは、美しい秋の風景が満ちています。河沿いのマーケットとアートギャラリーを見に行きました。セントジョーンズ・クラブで従兄弟のステイヴと昼食を楽しみました。そのレストランは、地域の家族たちや隣近所の人たちの、自分も含めて、楽しく過ごせるところです。りんごは、自分も楽しみますが、隣近所や友人たちに配るのも楽しいことです。写真送ります。

◆4月20日(月) 日本旅行計画

北見での春のような季節を楽しんでおられることでしょう。ここファンガパラオアでは美しい秋の日和が満ちています。

今年は、国際的に不安定な様相で、日本訪問をためらっておりました。しかしながら、中東の事態も少し落ち着いてくるようなので、今は旅行の機会と捉えることにしました。

日程を予約しました。5月15日金曜日、千歳着。6月25日木曜日ニュージールランド帰着。北見には、JRで、5月29日金曜日着。札幌へは6月5日金曜日に向かいます。北見滞在中にESSの方々とお会いできれば良いのですが。また、ピアソン記念館にも機会があればと。北見の方々に再会できるのを楽しみにしています。

しみにしています。グラハム・ハード

◆5月17日(日) 札幌に安着

メッセージをありがとうございます。今朝の教会での礼拝がつながく進みますように。

オークランドから、昨日の札幌着まで無事に過ぎて嬉しく思いました。天候も快適で、この地にある平安を楽しんでいます。5月29日の北見への旅を楽しみにしています。JRの予約が決まり次第お知らせします。北見滞在中に、ピアソン会の方々とお会いできれば良いのですが。お考えのように、日中の集まりの方が、お互いに容易ですね。3日水曜日から4日木曜日がこちらは都合が良いです。いろいろありがとうございます。グラハム・ハード

◆5月19日(火) 日程の動きについて

連絡ありがとうございます。ピアソン会の方々の日程変更、6月4日木曜日は、都合が良いです。皆さん方にお会いできるのが楽しみです。今日、札幌駅で予約を取りました。5月29日金曜日、札幌発。北見着は、特別快速大雪で15:40分。帰途は、6月5日金曜日、10:45分快速北見です。北見滞在を待ち遠しく思います。

◆5月26日(火) 場所変更のお知らせ

6月4日木曜日、ピアソン会の方々の昼食会会場変更のお知らせがあります。とうございませう。牡丹園で、11時30分から良い機会を楽しみにしています。札幌で快適に過ごしています。

【写真下】仁頃の薄荷御殿前での記念撮影。右より、ハード氏、広上氏(元北見北高 高校英語教諭)。吉田邦子顧問。



◆6月1日(月) 食後ドライブの件

明日、広上先生の車でドライブに出かけるという親切なお心遣い、本当にありがとうございます。午後3時から予定が入っていますので、それまでにホテルに戻りたいと思います。お二人が良ければ、フラワーバライズが北見が丘へ行きたいと思っています。どうお考えでしょうか？

◆6月3日(水) 素晴らしい日を感謝

昨日は素晴らしい1日をありがとうございました。久保田コーヒーショップでの食事は美味しく、北見ヶ丘や仁頃までもドライブは本当に楽しかったです。また、緑ヶ丘霊園で、篠原先生への私たちの敬意を表すことができ



【写真上】ESSリーダー故篠原先生(元北見柏陽高校英語教諭)の墓碑の前で。

て、本当に良かったです。

◆6月5日(金) 札幌に安着

北見からの快適な列車便で無事札幌へ帰着しました。今朝のお見送り、ありがとうございます。北見滞在へのお心遣いありがとうございます。素晴らしい時間でした。

◆6月18日(木) 祝お誕生日

【写真下】ピアソン会会員との昼食会写真。(河西ボタニ園内カフェ遊木民族にて)



誕生日へのメッセージと近況お知らせ、ありがとうございます。お庭の成果喜ばれて、嬉しく思います。(40年近く前、ハードさんからいただいたルバーブが、今も変わらずに)。札幌で快適に過ごしています。先日、中島公園へ、お祭りの雰囲気を楽しむに行ってきました。池にはボート、黄色いアイリスの周りには小鴨たちが見えました。添付の芍薬は、近所の庭に、「誕生日プレゼント」のように咲いていました。



◆6月25日(木) 送別のメッセージ

【写真右】ボタニ園でセージの写真。

うございませう。今は成田空港で、オークランド行きゲイトで待っているところです。午後8時発予定です。日本で快適に有意義に過ごしました。さまざまなお心遣いありがとうございます。

◆7月4日(土)

過日、無事帰国しました。こちらは全て順調です。長旅で、少し疲れましたが。澄んだ青空ですが、とても寒いです。毎日新ストロウを使い、マンダリン・オレンジをたっぷり食しています。

添付は、昨日のアーミーベイです。日本での滞在は、素晴らしいかったです。みなさんとピアソン会の方々のご親切なおもてなしに改めてお礼を申し上げます。 グラハム・ハード

編集後記

第28回のグリーンコンサートも無事終了。事務局にとって一番の肉体労働です。前庭の芝刈り作業、公園の楽器置き場の草刈り作業など。また、出演団体との綿密な打ち合わせや駐車場確保など。今回の収穫は初めてスタッフの記念写真を残せたことです。が、会報に掲載写真に夏井理事が写っていません。理由は撮影者になつていないことによりです。別の集合写真では玉置理事が撮影したのもあります。どちらの集合写真を選ぶかで編者は大いに悩みましたが結局玉置理事が写っている方を優先しました。理由は玉置理事が年上であり年功によりです。夏井理事、許して下さい。学校が夏休みになります。今回初めて「子ども寺子屋」もつと知ろう北見の歴史とピアソン記念館」と題した子ども向けの郷土史の講座をやることになりました。基本的に記念館は社会教育施設ですから。数十年前振りに子どもに授業を！

(副理事長兼事務局長) 伊藤 恒